

事業名	実施主体	事業期間	評価	指導内容
モデル構築事業	九州のムラたび応援団	平成20年度～平成22年度	九州一円のグリーン・ツーリズムを活性化させるため、実践者のネットワークづくりや人材育成、情報発信等に取り組み、最終年度に掲げた目標を達成している。	特になし
	荒尾市感幸のまちづくり推進協議会	平成21年度～平成22年度	農山漁村エリアと都市圏との連携による体験交流プログラムの開発、福岡都市圏への情報発信等に取り組み、2年目に掲げた目標を達成している。	特になし
	NPO法人竹田市観光ツーリズム協会	平成21年度～平成22年度	都市商店街と農山村の連携による地域資源交流ビジネスモデルの構築、都市・農村の相互ファンづくり等に取り組み、2年目に掲げた目標を達成している。	特になし
府省連携促進事業 (地域連携プロジェクト)	爺婆でガンバル協議会	平成22年度	人口の減少や少子高齢化の進行する本地域において、中山間地域の活性化を図ることを目的に、耕作放棄地を活用したひまわり油による地場産品の開発や都市商店街との連携による消費者への安心安全な農産物の直接供給を通じた都市と農村の交流に取り組み、初年度に掲げた目標を達成している。	特になし
	元気な島づくり事業推進協議会	平成22年度	近年の人口減少や高齢化等により、基幹産業の沈滞が顕著となっている本地域において、地域の活性化を図ることを目的に、豊かな自然、歴史・文化を十分に活かし、観光ガイド(シマ歩き)の取り組み及びさまざまな海洋体験プログラムの新規構築などを図り、大島への来島促進・島外との交流連携を推進し、初年度に掲げた目標を達成している。	特になし
	元気な地島づくり協議会	平成22年度	少子高齢化の進行及び基幹産業である漁業の不振等によって元気のない本地域において、平成23年度のフェリー就航を好機とし、多様な主体の連携による地域の活性化を目的に、地元漁師が運営する『地島食堂』(仮称)の立ち上げに向け、来島者用の食堂メニューの開発や実践的な研修、精力的な試行運営を行っており、初年度に掲げた目標を達成している。	特になし
	宗像よしたけ 食育の郷づくり協議会	平成22年度	高齢化及び兼業化の進行による農村地域の活力低下が生じている本地区において、農村地域の活性化をはかることを目的に、農作物がムリ・ムダ・ムラなく流通する仕組みや加工品開発、体験交流プログラムの企画・実施、交流会等を実施することで、都市との交流人口の増加につながる活動に取り組み、初年度に掲げた目標を概ね達成している。 一部体験プログラム企画・実施数については、プログラムの数よりも交流人口増につなげるための十分な検討を行うことに時間を要した結果、未達成となっているが、参加者数で目標を大きく超え、プログラムの数についても今後改善が図られると見込まれる。	特になし
	秋月地域協議会	平成22年度	城下町として歴史と悲話を秘めた農林業と観光が中心であるが、不景気等の影響等による不振で元気がなかった本地域において、地域の交流人口の増加による地域の活性化を目的に、伝統文化や祭り・イベント、特産品の開発等に取り組み、初年度に掲げた目標を達成している。	特になし
	以心田心川崎地域力活性化協議会	平成22年度	水と緑に囲まれた自然豊かな山あい位置し、後継者の流出や高齢化が加速している本地域において、農山漁村の継続的自立的な発展を目指すことを目的に、地域住民や都市住民、学校、企業等の多様な主体と連携し、自然環境・景観の保全や伝統文化の継承、特産品開発、都市と農村の交流事業などに取り組み、初年度に掲げた目標を概ね達成している。 特産品等の販売収入については、一部未達成ではあるが、今後改善が図られると見込まれる。	特になし
	上城井ふれあい協議会	平成22年度	若年層の都市流出や少子高齢化による過疎化が進み、担い手不足に伴う地域活動や集落機能の低下がみられる本地域において、地元の活性化を図ることを目的に、地域に残されている自然や山村文化の再発見や継承を図ると共に、体験事業や宿泊事業による様々な都市との交流活動等に取り組み、初年度に掲げた目標を達成している。	特になし
	高遊外売茶翁佐賀地域協議会	平成22年度	人口の減少や少子高齢化が進行し活気が失われようとしている本地域において、地域の活性化を図ることを目的に、まちおこしグループ、大学、農家、グリヅリ関係者、茶道・寺院関係者、茶・お菓子・焼物関係者、市、観光協会等の多様な主体と連携して、地域の宝である煎茶の祖(高遊外売茶翁)の認知度の向上及び点在する地域資源等を有効活用するなどの都市と農村の交流に取り組み、初年度に掲げた目標を達成している。	特になし
	吉岐体験型観光受入協議会	平成22年度	素晴らしい宝である海と緑、歴史遺産を持つ本地域において、農山漁村の活性化や地域住民の活力向上、島全体が生き活きとした笑顔溢れるまちづくりを目的に、地域資源を活かした体験活動の充実や都市部からの教育旅行等の誘致等による交流人口の拡大に取り組み、初年度に掲げた目標を概ね達成している。 体験メニューの開発数について、統廃合により一部未達成ではあるが、今後改善が図られると見込まれる。	特になし

さいかい元気村協議会	平成22年度	過疎・高齢化に直面する当地域において、都市農村交流による地域活性化を目的に、さいかい元気村(体験村・エコヴィレッジ)を拠点として特産品開発と広域連携を促進し、特に大学との連携により、柔軟な発想で独自性のあるメニュー開発や新たな方向性の検討等に取り組み、初年度に掲げた目標を達成している。	特になし
阿蘇市湯浦・西湯浦地域協議会	平成22年度	高齢化・過疎化・農業の低迷、宿泊客・観光消費額の減少が進行している本地域において、地域の活性化を目的に、既に生まれつつある都市住民(生協組合員等)との交流活動を基に、このような動きを更に広げていくと共に、本地域の特性を生かした特産品の開発等に取り組み、初年度に掲げた目標を達成している。	特になし
肥後瀬田地域活性化推進協議会	平成22年度	秀峰阿蘇山の麓に位置し、築400年以上の農業用井手や施設等から引水している広大な水田が広がる田園地帯である本地域において、多様な主体との地域連携活動等を通じて地域活性化を図ることを目的に、多様な主体との地域連携活動として、農業を中心とした体験型農園や特産品開発等に取り組み、初年度に掲げた目標を達成している。	特になし
日之影町12地区連絡協議会	平成22年度	過疎化、高齢化が進んでいる本地域において、地域のコミュニティや地域力の活性化を促進させることを目的に、都市住民との交流イベントや交流の場の整備を「日之影町森林セラピー推進協議会」と連携して行い、初年度に掲げた目標を概ね達成している。 口蹄疫や鳥インフルエンザ等の外的要因により、一部未達成ではあるが、今後改善が図られると見込まれる。	特になし
鞍岡地域づくり協議会	平成22年度	中山間地域で急速な過疎化が進んでいるが、豊かな自然と歴史、伝統の祭りや芸能、良質な農作物等がある本地域において、魅力的な鞍岡、持続可能な鞍岡の実現を目的に、地区住民が主体となり、大学や都市部の企業と連携しながら、地域資源や本物志向の特産品を生かした活動を実行することで、交流人口の増加につながる活動に取り組み、初年度に掲げた目標を概ね達成している。 一部協議会ホームページへのアクセス数については、口蹄疫や鳥インフルエンザ等における自粛要請等により積極的な広報活動ができなかった結果、未達成となっているが、今後改善が図られると見込まれる。	特になし
上場天の花舎プロジェクト協議会	平成22年度	人口の減少や少子高齢化が進行している本地域において、都市と農村の交流促進を図ることを目的に、豊かな自然や体験メニューを生かし、NPO法人等と連携しながら都市と農村の交流活動に取り組み、初年度に掲げた目標を達成している。	特になし
南さつまにかもん協議会	平成22年度	少子高齢化による後継者不足や天候不良、資源激減で収入が不安定である農業や漁業が主産業となっている本地域において、持続可能な地域活性化を図ることを目的に、地域の素材や知恵などを活かした商品開発や外部団体との連携による販売イベントを通じた都市と農村の交流に取り組み、初年度に掲げた目標を達成している。	特になし
錦江やまんなか協議会	平成22年度	高齢化や若者層の都市流出等により寂れていく状況にある本地域において、都市と農村の交流による地域のコミュニティの復活、地域の元気の復活を目的に、地域住民や都市住民、企業等と連携し、新たな受入体制を構築することで、都市農村交流に多様性を持たせながら展開する活動に取り組み、初年度に掲げた目標を達成している。	特になし
屋久島・吉田地区「まんてん・平家の里」協議会	平成22年度	価値ある伝統・文化や豊かな地域資源、固有の自然に抱かれた本地域において、持続可能な経済活動の展開と活力ある集落の活性化を目的に、初年度に掲げた目標の達成に向け、豊かな地域資源の活用を図った都市との交流活動に取り組んでいる。 取り組み初年度の昨年度は、悪天候や準備不足等の理由により未達成となってしまった項目もあるが、現在は改善がはかられ、今後は目標の達成が見込まれる。	特になし